



保存版

■参加時には必ず携帯してください■

『ラ・パラ！開催趣旨&ルール・マナー解説書』(第23版 2018/3)

オートバイに100%の安全はありません。だからこそ練習が必要ですが、その練習中にも、事故が起きる可能性はあります。ですから参加される方は、事故の損害は他人から補償してもらうのではなく、参加者本人と家族で引き受ける覚悟と勇気が必要だとご理解ください。もらい事故も同様です。大げさな様ですが、そうでなければ『ラ・パラ！』を開催する事ができません。事故が起きてしまった時、**損害を引き受ける勇気と覚悟のない方は、固く参加をお断りします。**

【開催の趣旨】

一般道を除くと、バイクを楽しむ場所や機会が異常なほど少ない事に、あなたはお気付きですか？「免許が取れても、安全に乗れる運転技術は身に付いていない」というのは周知の事実ですが、練習できる場所は少なく、一般道では性能を發揮できない高性能なバイクが数多くあるにもかかわらず、その性能を使って遊べる場はほとんどありません。また、バイクには色んなライディングジャンルがありますが、なかなか交流する機会もありません。そのような現実を背景に『ラ・パラ！』は生まれました。『ラ・パラ！』の開催目的は3つです。

① **純粋に自分のバイクでとことん遊ぶ:**

「日常のストレスを全部忘れて、子供のようにバイクを楽しむ！」そんな場をつくりたい。

② **学ぶを知る、自分を知る:**

色んな乗り方にチャレンジして、それまで知らなかったバイクの楽しさを発見したり、積極的に学べる場をつくりたい。たくさんの人と一緒に走れば、自分の位置(実力)が正確に分かってきます。そうすると、成りたい自分をイメージできるようになり、無茶な走りをする必要がなくなります。

③ **リスクを理解して事故に合わないライダーになる!:**

技術不足・知識不足・ゆとりのなさから起きる事故を1件でも減らしたい。乗る事だけに集中できる環境は、ライディング技術と考え方を鍛えてくれます。バイクには、絶対にゼロにできない“危険”というリスクが付いてきますが、練習を通じてバイクの本質的なリスクを理解することにより、その危険度を減らす事ができます。

【バイクの遊び場が増えない3つの理由】

なぜバイクや用品は山のようにあるのに 肝心の“性能を使って遊ぶ場”が少ないのか？

◆理由その1◆ **経営的に成り立たない:**

ラパラのようなバイクの遊び場が非常に少ない、という現実が、ビジネス的に成り立たない事を証明しています。走行イベントには多額の経費が掛かる上、雨リスクが付いて回るので、商業目的の運営は困難で、**広告宣伝かボランティアでしか運営が難しい**のが、開催が増えない大きな原因です。

◆理由その2◆ **事故のリスク:**

開催中に万が一大きな事故が起きると、主催者や会場にはどうしようもないことまで責任を問われることがあります。国内の大きなサーキットのほとんどが今 裁判中といってもいい程です。この**リスクの高さ**こそ、開催が増えない一番の原因です。

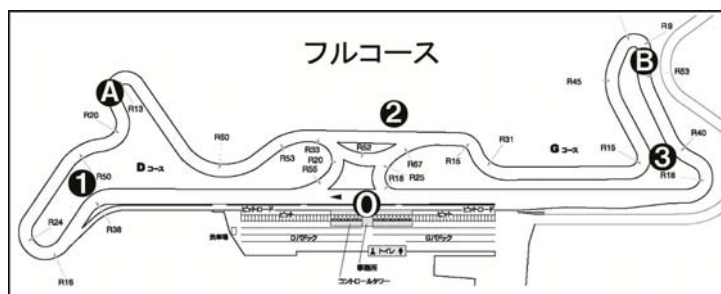
◆理由その3◆ **会場が少ない:**

サーキットや練習の場が近くにある人は幸せです。開催しようにも**一般道を除くとバイクに乗れる場所はわずか**です。そしてその一般道では、乗ることに慣れはしてもテクニックを上げることは容易ではありません。また他の車両やガードレール、その他の障害物が多々あるため、転倒がそのまま命に係わる事故になりかねません。

楽しい遊び場が増えない理由を、少しお伝えできたでしょうか？この難関を乗り越え『ラ・パラ！』を継続するには、あなたの協力が必要です。ルール・マナーを理解して実行するのはもちろん、バイクの常識である「ケガと弁当は自分持ち」という精神を絶対に忘れないで下さい。さあそれでは『ラ・パラ！』を思いっきり楽しみましょう！



【ラ・パラ！ルール・マナー】



1. サーキット走行のクラスと基準タイムについて:

必ず各クラスの基準タイムを守って走行して下さい。

クラス	基準タイム
スーパーHi	～1分5秒999以上 *ポンダー装着と走行リストへの記入必要
スポーツA	1分6秒～12秒
スポーツB	1分12秒～18秒
スポーツC	1分18秒～29秒
エンジョイ	1分30秒より速い走行禁止

2. 車両に付いて:

- ゼッケン装着:** 受付時に渡されるゼッケンをフロントに装着。当日のゼッケン番号以外の数字は隠してください。年間固定ゼッケンの方は走行中にポストから読める数字で自由に制作してください。
- テーピング:** 燈火類のテーピングは不要。画像・映像に撮られたくない部分(ナンバー等)があれば、テーピングで隠して下さい。ゼッケン装着の為にテープはご持参ください。
- 安全点検:** 『ラ・パラ!』は車検がありません。各自 次の A・B を含めた安全点検を行って下さい。“コース上に物や液体等を落とさない”と“安全に止まる”ことが主な目的です。走行に支障があると判断された車両は、走行できません。車載カメラ・スライダー・パーツの落下にも十分注意して下さい。

A) オイル漏れのチェック: ※ドレンボルトのワイヤーロックを推奨します。

①ドレンボルトが緩んでいないか? →緩んでいた場合はレンチで締める事

②オイルフィルターが緩んでいないか? →緩んでいた場合は手締めではなく、必ずフィルターレンチで締める事

B) ガス欠: コース上でガス欠は非常に危険です。コースイン前にガソリン量をチェックして下さい。

3. 装備について: **痛いのはあなたです。** 出来るだけプロテクト効果の高い装備をしてください。

【エンジョイクラス・ミニコース等パドックエリア】

①ひざ・ひじハード(または CE 規格相当。ウエア内蔵型 OK)プロテクター ②ライディングシューズ

・肌の露出禁止。ツナギ・ブーツ・チェストガードを強く推奨。

・「エンジョイクラス」にツナギ着用義務はありませんが、これからもサーキットを走りたいと思った方はツナギを用意してください。

【スポーツクラス】

①プロテクター付革ツナギ(セパレートは1周つながるもの) ②フルフェイスヘルメット ③革グローブ ④革ブーツ。 ※脊椎パッド・チェストガード・ヘルメットリムーバーを強く推奨。

4. コースイン: 上の図の[A]地点までコース左端を走行。 **決していきなり走行ラインに入らない。**

コースイン時、サーキットマーシャルのチェック(走行券・車両ゼッケン・装備等)を受けてください。

5. ピットイン(コースを出る): [B]地点よりコース左端に寄り、手を大きく挙げたり足を出すなどして、後続車に十分アピールする事。合図ができない場合は 左端に寄って走行しコースから出る。

6. ピットロード: **30km/h 以下**








7. 転倒した場合: **ピットに戻るまで 絶対にヘルメットを脱がない。** 自力でバイクの移動や退避が無理な場合、サーキットマーシャルが救助に向かうまで **安全なところで待機。**

8. 転倒者がいる場合: 決してコース上で止まらない。転倒者の保護や車両の回収はサーキットマーシャルに任せて下さい。危険なので、**知り合いが転倒した場合も絶対に止まらない。**

9. コースアウト後コースに復帰する場合: **必ず一旦停止**の上、後続車の状況を確実に把握し、安全を確認の上、復帰する事。車両に土などの付着がある場合は、左端を走行しすぐピットインする事。



10. **追い越しについて:** 無理な追い越しは絶対禁止。レースではありません。十分な間隔と気持ちに余裕がある時に限り、追い越し可。追い越される側は、後ろを気にして急にラインを変えたり、速度を落としたりしないこと。
11. **誰かと接触した場合:** 接触や転倒が発生した際は、落ち着いてから、互いに声を掛け合うなどの気遣いを忘れないようにして下さい。相手が悪いと思う場合も、損害賠償請求はできません(故意・飲酒運転除く)。
12. **フラッグについて:** 各ポスト(P.2 コース図中の数字がポストの位置)で掲示されます。見落としは重大事故につながるため、**確認する余裕のある速度で走行**すること。

 レインボーニコちゃん	クラスの基準タイムと違う速度のライダーへのお知らせ。 0番ポストでのみ掲示されるラパラ独自のフラッグ。
 黄旗(イエローフラッグ)	コース上に危険(転倒等)あり。 追越禁止 。減速して危険を回避。
 赤旗(レッドフラッグ)	コース内が危険な状態またはケガ人・車両回収等のため、走行中断。 追越禁止 でスムーズにピットイン。
 緑旗(グリーンフラッグ、シグナル)	0番ポストでのみ掲示。コースが走行可能な状態であることを示す。
 黒白チェッカー	走行終了。 全ポストで振られる (ラパラ独自のフルポスチェッカー) 追越禁止 でスムーズにピットイン。
 黒旗の中央にオレンジ玉	車両異常や装備等に問題があるライダーに向かって、ゼッケン番号と共に掲示。旗を出されたライダーはすみやかにピットインし、ポスト員に原因を確認する。
 赤ストライプ付黄旗	コース上に問題があり安全な走行が出来ない。オイル漏れの可能性や落下物がある時など。ポスト員が落下物を拾いにコースに入る事があるので、十分減速して安全に通過する。

13. **ケガした場合:** 病院搬送が必要な場合は、同行者同士で対処するのが基本です。当日の病院情報はツインサーキット事務所で確認できます。急を要する場合や同行者がいない場合は、救急車を要請します。簡単な応急処置ができる**救急箱は本部**に設置してあります。
14. **保険について:** 万一の負傷に備え、事前に『ライダーズネットスポーツ安全保険』に加入してください。後日保険請求をする可能性のある方は、必ず**当日中に、本部へ「事故及び負傷届出書」**を出してください。翌日以降の届出は一切受けられません。(P4 参照)
15. **会場内の諸注意:**
- エンジンをつけて走行する際: 基本的にヘルメット着用。短い距離の移動でヘルメットを着用しない場合は全責任を負うこと。2人乗りの場合、タンデムシートの方は必ずヘルメット着用。
 - 移動: 歩行者や他の車両に常に気をつけて移動すること。
 - 車の乗り入れ・駐車: 7:30-17:10 はピット・パドックへの進入不可。トランポは、7:30 までにジャリ駐車場へ移動する事。 ※緊急時と関係者移動除く
 - 通路には車両を含め 物は置けません。車両・道具類はすべてピットエリアに収納してください。
 - ピット先着順。独占禁止、譲り合って使用する事。屋根付ピットは、後から来る人の分の場所取り禁止。
 - 貴重品はコインロッカーに保管するなどして、各自の責任で管理して下さい。
 - 暴力・暴言・飲酒禁止(見学者含む)。BBQ やコンロ等の使用は火の管理とゴミの持ち帰り厳守で、砂利スペースでのみ可。違反した方は即刻走行中止の上、以降の参加は受け付けません。
 - 広告・宣伝・販売・勧誘・のぼり/バナーの掲示等はできません。 ※事務局承認除く
16. **3つのお願い:**
- ① ツインさんへの協力として**ゴミの持ち帰り**をお願いします。会場で購入されたものは所定の場所へ捨てて下さい。タバコは喫煙所か車の中で!
 - ② **ケガをしない楽しい走行!** 転倒には痛い四兄弟(体・さいふ・心・視線)が付いてきます。走行時間も減らします。マナー重視で余裕を持って楽しみましょう!
 - ③ 自分もみんなも楽しめる1日になるようご協力ください。**走行終了時の「みんなで撤収」タイム**は5分ほどで終わります。ご協力をお願いします。



『ライダーズネット スポーツ安全保険』について

自分がどれだけ気を付けても、事故をゼロに出来ないのがバイクです。思いがけない事故に備え、補償が大きいスポーツ安全協会運営の『スポーツ安全保険』へご加入ください。個人で十分な保険に入られている方は任意です。

【大事なお知らせ】 同じ「スポーツ安全保険」でも**他団体で加入されたものは使えません。**

【1. スポーツ安全保険について】 <http://www.sportsanzen.org/index.html>

1.掛金	一般 2,000 円 (内訳:保険料 1,850 円、スポ安への手数料 138 円、銀行振込手数料) 会員 1,850 円 (手数料等はライダーズネットで負担) ※途中加入同額 ※期間中何回参加しても同額
2.補償期間	毎年 4月1日 ～翌年 3月 31 日までの 1 年間 ※掛金振込日の約 1 週間後から補償されます。
3.補償内容:	http://www.sportsanzen.org/hoken/kubun_i.html C 区分をご覧ください。 ※補償金額が高いだけでなく、会場までの往復(寄り道はダメ)のケガも補償されるなど内容が非常に優れています。 ※ライダーズネットは加入窓口です。事故の際の補償や手続きに関する決定権はありませんので、補償内容については各自よくご確認ください。 http://www.sportsanzen.org/hoken/hoken1.html
4.申込方法	ライダーズネットで団体加入。ウェブサイトからお申し込みください。 http://www.nporidersnet.org/la_hoken.html
5.申込/振込締切	参加日の 1 週間前 ※直前では加入が間に合いません。

【2. 保険請求方法】

1. 事故当日、ラパラ本部へ『事故及び負傷届出書』を提出 (**翌日以降の受付不可**)
※『事故及び負傷届出書』は本部の救急箱に設置してあります。ご本人の記入が難しい場合は、同行者が代理記入し提出して下さい。一人参加の方で記入が難しい場合は、スタッフが代理記入します。
2. 『スポーツ安全保険事故通知』ハガキを受け取る
3. ハガキに必要な事項を記入し郵送
4. 保険会社より直接必要書類が届きます

【3. 加入依頼番号と加入手続日の確認】

『スポーツ安全保険事故通知』ハガキの記入に必要な「加入依頼番号」と「加入手続日」は、各自「スポーツ安全保険に入る」サイトで確認できます。